

公益通報（内部通報）に対する理解と、通報の方法



公益通報は、職場の倫理基準と説明責任を維持するために、極めて重要です。また、米国のサーベンス・オクスリー法、EUの公益通報者保護指令、英国の公益通報法など、公益通報者を保護するための制度も数多くあります。こうした通報者の保護は、倫理に反する行動や不正行為について懸念を表明することの重要性を強調するものであり、あなたのような従業員が報復を恐れることなく発言できるようにするためのものです。

なぜ公益通報が重要なのでしょうか？

- ・ **不正行為を防止する**：不正行為の事例を報告するのは気が引けるかもしれませんが、公益通報は、企業の詐欺や不正行為を明らかにし、防止する上で、極めて重要なことです。公益通報者は、企業がどのように運営されているかを見たり聴いたりする目や耳の役割を持ち、非倫理的行為や犯罪行為を阻止するために必要な重要情報を提供します。このような行為を明るみに出すことで、企業はただちに問題に対処することができ、非倫理的行為に関与する可能性のある他の人物に対する抑止力として機能します。
- ・ **企業文化を向上させる**：透明性が高く、倫理的で説明責任を果たす職場は、前向きな職場環境を育みます。報復を恐れることなく、安心して不正行為を報告できると感じられれば、信頼と責任感が育まれます。その結果、より幸せで生産性の高い職場が生まれ、あなたは自分の職場を誇れるようになります。
- ・ **詳細な洞察（インサイト）を提供する**：公益通報者は、多くの場合、内部事情に精通しており、通常なら気づかれないような問題についても詳細な洞察（インサイト）を提供することができます。あなたは、企業の目や耳なのです。提出された情報は、問題に対して効果的な対処・是正を行うために貴重なものです。
- ・ **正しい行いをする**：公益通報は、倫理的かつ道徳的な行いです。公益通報により、正義と透明性が促進され、オープンで説明責任を果たす文化が奨励されます。職場が、誰もが働きたいと望み、安全に働ける場所となるのです。これは従業員に力を与え、すべての人にとって安全で倫理的な職場環境を創出するのに役立ちます。
- ・ **リスクとコストを最小化する**：不正行為が報告されないことにより、企業にとって重大な法的リスク、財務リスク、評判リスクにつながる可能性があります。不正行為や非倫理的行為を報告することで、悪化する前に問題を明らかにすることができ、潜在的な損害を最小限に抑えることができます。

不正行為を報告するにはどうすればよいですか？

職場で不正行為を目撃した場合、情報を適切な場所に届けるために取るべきステップがいくつかあります。

- ・ **情報を収集する**：不正行為に関するすべての関連情報と証拠を収集します。最善な結果を得るために、情報が正確で詳細であり、フォローアップが可能であるようにしてください。
- ・ **会社の規則を確認する**：会社の公益通報規則をよく理解してください。適切な報告経路や、あなたが利用できる保護措置に関する指針となります。ご不明な点がある場合や、必要な情報が見つからない場合は、いつでもホットラインにお問い合わせください。
- ・ **社内の報告経路を使用する**：指定された社内の報告経路を通じて、問題を報告します。これには、公益通報ホットライン、オンラインポータル、またはコンプライアンスリーダーとして指定された人物や上司への直接的な報告などがあります。
- ・ **秘密保持を求める**：報復を受ける恐れがある場合は、報告を秘密として扱うよう要請します。多くの企業が、匿名で報告を行う選択肢を用意しています。
- ・ **フォローアップ**：報告後、問題が解決されるようフォローアップを行います。秘密保持を理由として、すべての詳細を知ることはできないかもしれませんが、大まかな進捗状況は知らされるはずで



あなたは、公益通報の重要性を理解し、不正行為を正しく報告することで、安全で倫理的かつ生産的な職場を促進するために重要な役割を果たします。倫理に反する行為や違法行為を報告し、前向きで安全な企業文化に貢献することは、あなたの権利であり義務であることを忘れないでください。